

概要

■平成30年7月豪雨により、大きな被害を受けた肱川流域において、国土交通省と愛媛県は、「肱川緊急治水対策」を進めており、今後5年間で激特事業により平成30年7月豪雨と同規模の洪水を越水させないよう、河川整備に全力で取り組んでいる。

■一方、大洲市柚木・如法寺地区においては臥龍山荘や如法寺河原など、地域を代表する景勝地が存在し、激特事業を推進するにあたり、大洲市、学識者及び河川管理者等の連携の下、景観、歴史、文化等の地域資源と調和した優れた水辺景観の創出を行う必要がある。

■そのため、本事業で実施する河川構造物の景観整備に関する検討を行う場として、『肱川 激特事業景観協議会』を開催し激特事業に反映を行うものである。

一級河川肱川

肱川は、愛媛県の西南部に位置し、その源を愛媛県西予市の鳥坂峠（標高460m）北麓に端を発し、途中、四国山地の1,000mを越す標高部を源流とする小田川、船戸川など数多くの支川を合わせながら大洲盆地を貫流して、伊予灘に注いでいる愛媛県一の大河川です。



【流域の諸元】

流域面積（集水面積）	: 1,210km ² （55位/109水系）	
幹川流路延長	: 103km（うち直轄管理区間62.1km）	
流域市町村	: 3市2町（大洲市、西予市、伊予市、内子町、砥部町）	
流域内人口	: 約10万人*	
想定氾濫区域内人口	: 約3.6万人*	※第10回河川現況調査より

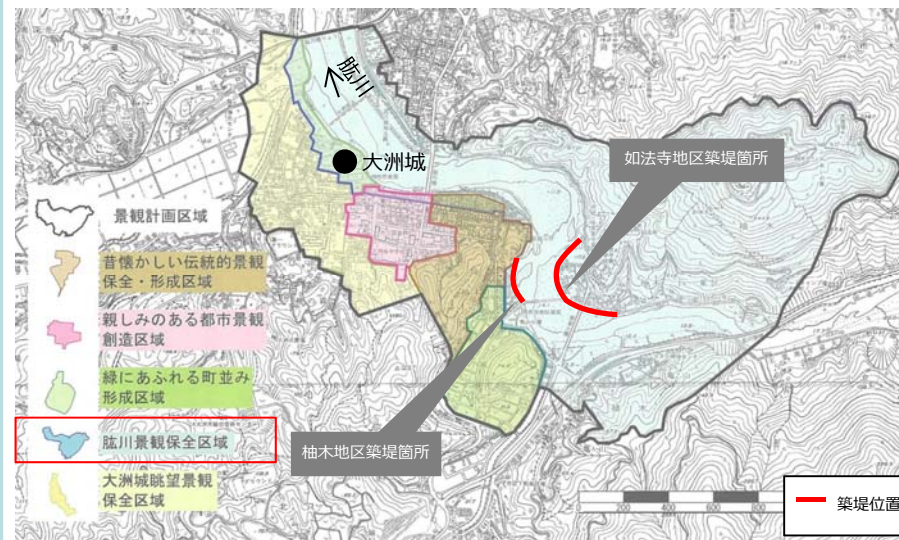
柚木地区・如法寺地区

- ・柚木・如法寺地区は、肱川の河口から約20km上流に位置。
- ・周辺には大洲城や旧町並みをはじめ様々な景勝地が存在するが、柚木・如法寺地区では特に日本三大鵜飼いの一つでもある「肱川の鵜飼」や肱川随一の景勝地「臥龍淵」に建てられた国の重要文化財の臥龍山荘（別荘）などが有名。



大洲市景観計画

- ・愛媛県大洲市では、美しい景観を守り育てるために平成21年に景観条例・景観計画が定められている。
- ・景観計画では、既存景観の評価を行ったうえで課題・対応策などが整理され、区域指定と目標が定められている。
- ・激特事業においては、柚木・如法寺地区の築堤事業が景観計画の区域内にあたる。

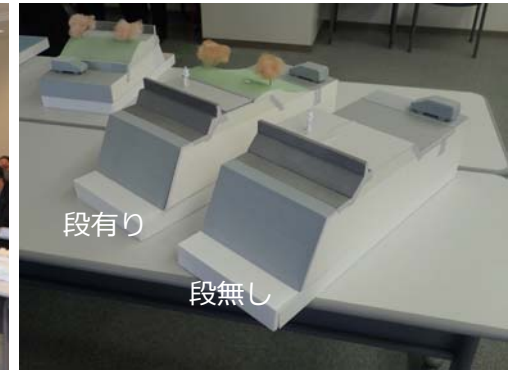


協議会の概要

- 協議会メンバーは、地元代表者、学識者及び施設管理者などにより構成され、令和2年度までに合計3回が開催された。
- 協議会では、現地視察などを通じ、地域の暮らしや歴史文化を踏まえた活発な議論がなされ、激特事業における柚木・如法寺地区の整備テーマ・コンセプトに基づく、整備方針が決定された。



第3回 肱川激特事業景観協議会
【令和2年11月19日】



柚木堤防の模型による構造比較

委員会の経緯

■ 第1回：令和元年11月28日

- ① 現地視察
- ② 協議会の発足
- ③ 肱川緊急治水対策について
- ④ 柚木・如法寺地区について協議（景観検討コンセプト等）

■ 第2回：令和2年2月14日

- ① 今後の開催予定について説明
- ② 第1回協議会の振り返り（意見等の確認）
- ③ 名勝調査委員会、地域団体の意見等（概要の報告）
- ④ 地域の歴史的背景や肱川に求められる姿について
- ⑤ 肱川激特事業における護岸整備のあり方について
【模型を活用し検討】（整備テーマ・コンセプト、設計方針等）

■ 第3回：令和2年11月19日

- ① 景観協議会の開催内容と今後の予定
- ② 第2回景観協議会の振り返り（意見交換の整理結果）
- ③ 関係団体へのヒアリング結果（概要の報告）
- ④ 護岸整備のあり方に基づく景観整備方針について
- ⑤ 柚木・如法寺地区の景観整備について

委員名簿

委員

	氏名	区分	所属・役職
1	<会長> 羽鳥 剛史	学識経験者	愛媛大学 社会共創学部環境デザイン学科 准教授
2	<副会長> 白柳 洋俊	学識経験者	愛媛大学 大学院理工学研究科 講師
3	城戸 猪喜夫	地元	大洲市都市計画審議会 会長
4	菅野 隆次	地元	大洲市景観審査会 委員
5	土居 泰正	地元	大洲市文化財保護審議委員会 委員長
6	山内 勝之	地元	大洲市自治会連絡会議 会長
7	安川 (山本 光明)	地元	大洲市議会 議長
8	和泉 雅春 (兵頭 英人)	行政(国)	国土交通省 肱川緊急治水対策河川事務所 所長 (国土交通省 大洲河川国道事務所 所長)
9	片上 靖 (向井 恒好)	行政(県)	愛媛県 大洲土木事務所 所長
10	谷川 剛	行政(市)	大洲市 建設部 部長
11	井上 徹	行政(市)	大洲市 教育委員会 部長

アドバイザー

	氏名	区分	各種団体名・役職等
1	福島 秀哉	学識経験者	東京大学 社会基盤学科 助教

事務局

	団体名
1	国土交通省 四国地方整備局 肱川緊急治水対策河川事務所 (国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所)
2	愛媛県 大洲土木事務所
3	大洲市 建設部
4	大洲市 教育委員会

※（ ）書きは第1回・第2回委員

整備テーマ・コンセプト

<テーマ> 肱川に対する防災力を向上させ、川との暮らしを継承して地域を発展させる河川整備
<コンセプト>

- ① 川辺をいかした暮らしの風景・文化の継承
- ② 新しい水辺の活動の場と風景の創出
- ③ 次世代に残す肱川の流域景観の創出



肱川遊覧（臥龍山荘前）



肱川の鶴飼い

検討内容

- 柚木地区の検討内容
 - 方針1：分節された石積みと坂路という柚木の風景の継承
 - 方針2：柚木地区と肱川を分断しない水辺空間の創出
- 如法寺地区の検討内容
 - 方針3：景勝地である臥龍山荘（不老庵）からみる風景に相応しい景観創出
 - 方針4：地域行事や川辺活動を支え、如法寺地区と肱川を分断しない護岸整備



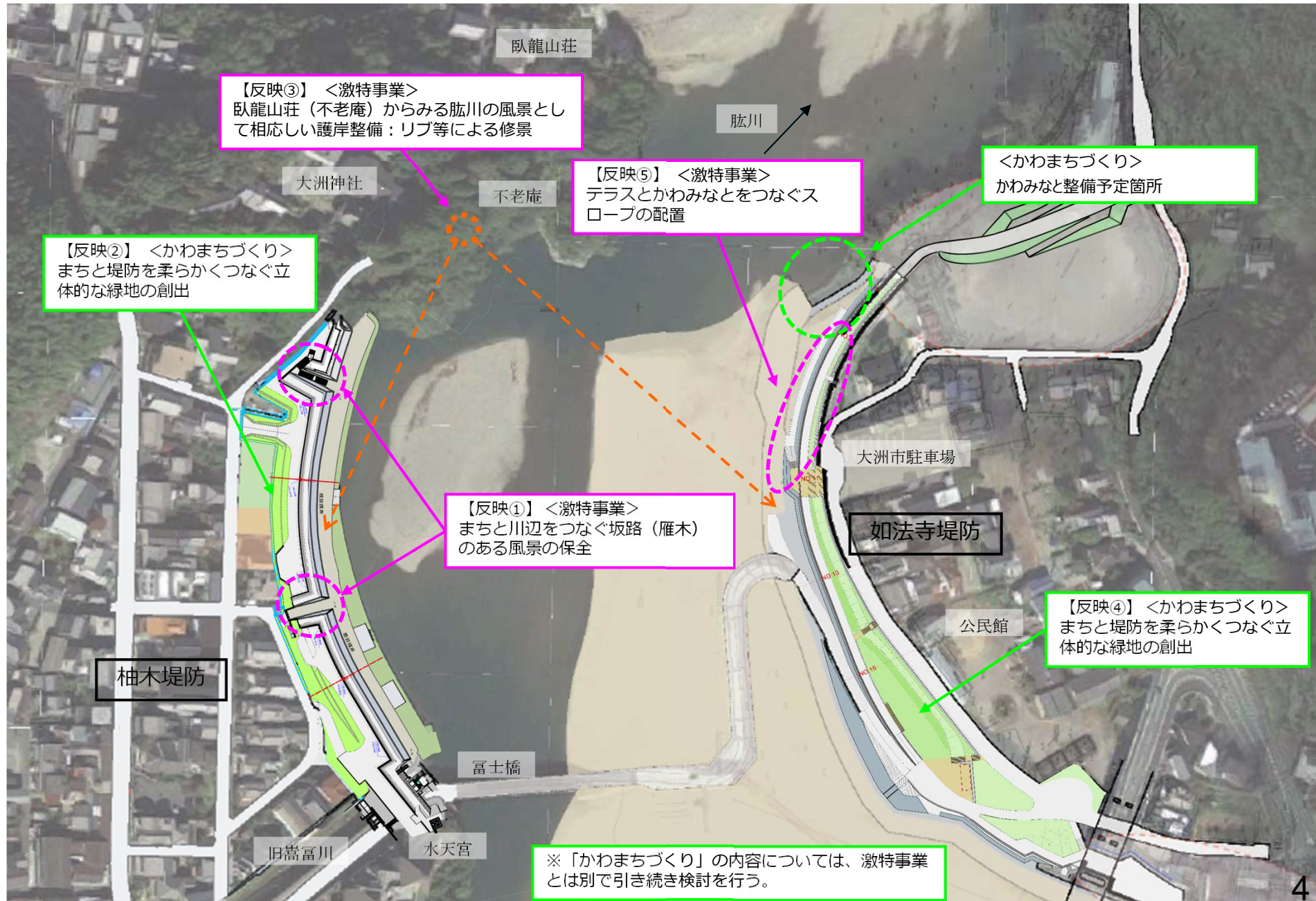
いもたき（如法寺河原）

激特事業への反映

- 柚木地区の具体案
 - > 【反映①】 まちと川辺をつなぐ坂路（雁木）のある風景の保全
 - > 【反映②】 まちと堤防を柔らかくつなぐ立体的な緑地の創出
- 如法寺地区の具体案
 - > 【反映③】 臥龍山荘（不老庵）からみる肱川の風景として相応しい護岸整備：リブ等による修景
 - > 【反映④】 背後地の公園との一体化によるまちと川辺を柔らかくつなぐ立体的な緑地の創出
 - > 【反映⑤】 テラスとかわみなどをつなぐスロープの配置

第3回委員会のご意見の一部

- ・如法寺では昔は桜の並木があったので、この案は大変良い。
- ・カヌーは肱川の流れを活用した利用検討を進めており、テラス空間から、川まで降りられるような整備は大変ありがたい。
- ・不老庵から見た景色も春と秋が分かれて楽しめる柚木は、紅葉で連続性をもたせ、如法寺は花見ができる桜が良い。
- ・テラスがあると舞台として利用価値があるので、ぜひお願いしたい。
- ・行政と地域との協働で進めていくことが重要。並行してかわまちづくりで若い方も参加して川を使っていく、地域の皆さんも川を使って発展させていくということで協力していただきたい。
- ・行政は、地域の方々と開いて議論することが大事。地域の方々もお願いや要望ではなく、一緒に公共事業含めてまちづくりをしていくように関係性を変えていくことが必要 など。

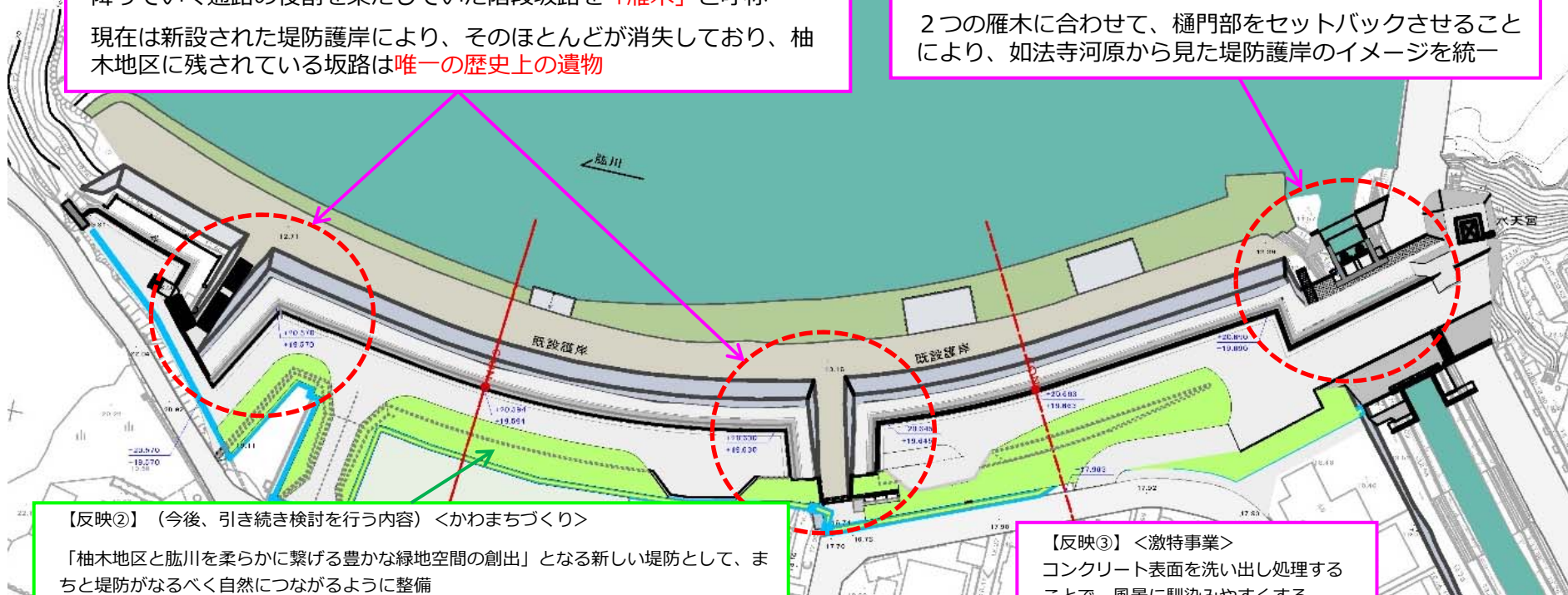


【反映①】 <激特事業>

◆水郷大洲では、昔は町と川とがつながっており、町(家)から川へと降りていく通路の役割を果たしていた階段坂路を「雁木」と呼称
現在は新設された堤防護岸により、そのほとんどが消失しており、柚木地区に残されている坂路は**唯一の歴史上の遺物**

【反映①】 <激特事業>

2つの雁木に合わせて、樋門部をセットバックさせることにより、如法寺河原から見た堤防護岸のイメージを統一



【反映②】 (今後、引き続き検討を行う内容) <かわまちづくり>

「柚木地区と肱川を柔らかく繋げる豊かな緑地空間の創出」となる新しい堤防として、まちと堤防がなるべく自然につながるように整備

【反映③】 <激特事業>

コンクリート表面を洗い出し処理することで、風景に馴染みやすくする



個人蔵/画像データ提供 大洲市立博物館

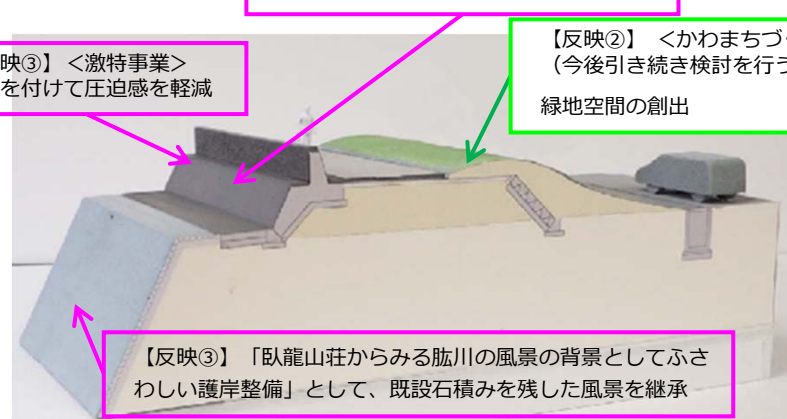
明治時代の雁木により分節された肱川の風景 (肱南地区)

【反映③】 <激特事業>

段差を付けて圧迫感を軽減

【反映②】 <かわまちづくり>
(今後引き続き検討を行う内容)

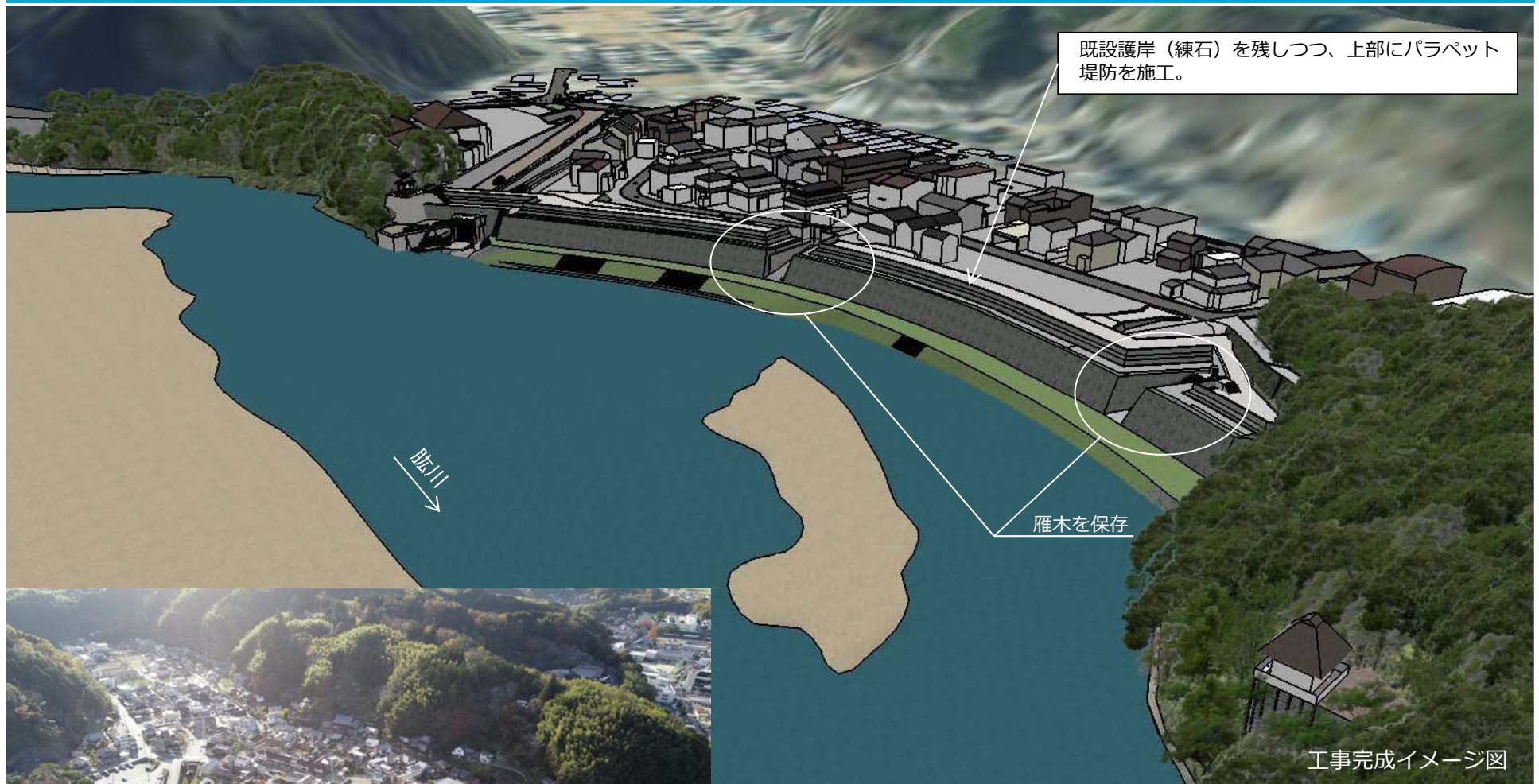
緑地空間の創出



【反映③】「臥龍山荘からみる肱川の風景の背景としてふさわしい護岸整備」として、既設石積みを残した風景を継承

柚木地区：断面模型による整備イメージ

激特事業への反映内容(柚木地区の整備)



工事完成イメージ図



現在の柚木地区の写真

如法寺地区においては平成20年～平成24年度にかけて練石パネルによる低い築堤が施工されている状況。

新規堤防

既設堤防

【反映③】「リブ」と呼ばれる凸状のラインによる景観への配慮

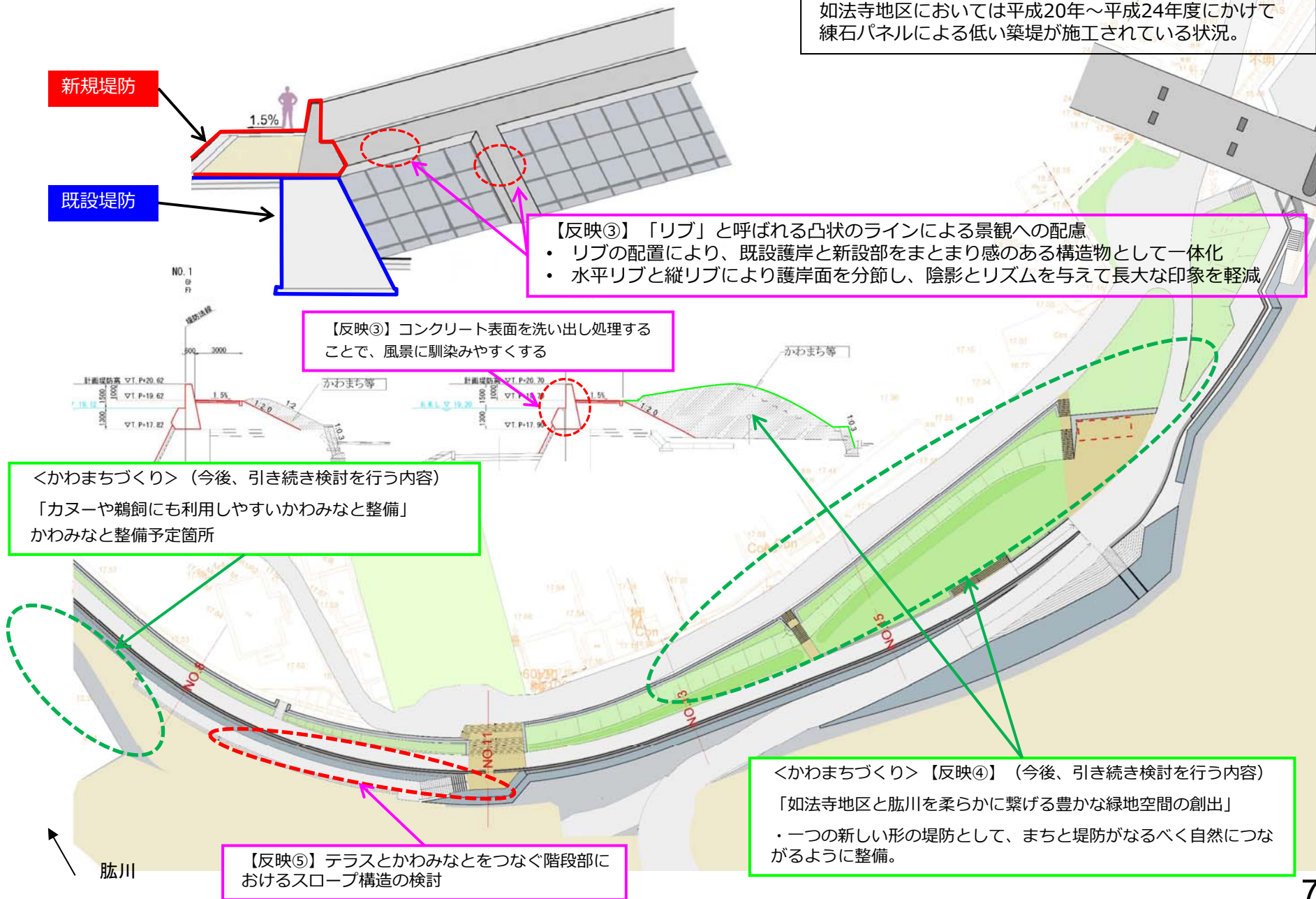
- ・ リブの配置により、既設護岸と新設部をまとまり感のある構造物として一体化
- ・ 水平リブと縦リブにより護岸面を分節し、陰影とリズムを与えて長大な印象を軽減

【反映③】コンクリート表面を洗い出し処理することで、風景に馴染みやすくする

<かわまちづくり> (今後、引き続き検討を行う内容)
 「カヌーや鵜飼にも利用しやすいかわみなと整備」
 かわみなと整備予定箇所

<かわまちづくり> 【反映④】 (今後、引き続き検討を行う内容)
 「如法寺地区と肱川を柔らかく繋げる豊かな緑地空間の創出」
 ・ 一つの新しい形の堤防として、まちと堤防がなるべく自然につながるように整備。

【反映⑤】テラスとかわみなをつなぐ階段部におけるスロープ構造の検討



激特事業への反映内容(柚木地区の整備)



※中央部スロープは設計調整中